



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東
 コード番号 2180 URL https://ssug.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 本部長 (氏名) 大竹 貴也 TEL 03-6894-3233
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	10,828	24.3	851	74.7	891	△0.9	520	△1.6
2022年6月期第2四半期	8,710	—	487	—	899	—	528	—

（注）包括利益 2023年6月期第2四半期 554百万円（1.7%） 2022年6月期第2四半期 544百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	34.86	—
2022年6月期第2四半期	35.09	—

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年6月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	10,882	3,119	27.4
2022年6月期	7,548	2,820	35.7

（参考）自己資本 2023年6月期第2四半期 2,977百万円 2022年6月期 2,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	1.9	1,000	30.2	1,020	△20.6	640	10.1	42.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社 （社名）bills waikiki LLC

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	15,191,600株	2022年6月期	15,191,600株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	277,456株	2022年6月期	128,708株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	14,927,361株	2022年6月期2Q	15,062,932株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意点）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12
(収益認識関係)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年7月1日～2022年12月31日）における当社グループは、企画力とメディアリレーションを強みとする「PRコミュニケーショングループ」として、グループシナジーを創出しながらソリューションを提供するとともに、中長期的な企業価値向上を目指して、「成長分野へのリソースの効果的投下」と「経営のより一層の効率化」に注力してまいりました。それらを推進するため、独自の福利厚生「32の制度」を拡充し、従業員一人ひとりが自分らしく働くための環境を整備するとともに、国籍等を問わない採用方針を新卒採用にも適用し、クライアントの広がりに対する組織体制の整備を推進しております。

ポストコロナへの本格シフトを見据えた当社グループでは、社会的ニーズや価値観の変化に伴う需要を継続的に取り込むとともに、イベント需要の回復や急激に増加するグローバル企業からの依頼にも迅速に対応してまいりました。2022年10月11日以降適用された水際対策緩和も追い風となり、2023年に開業が予定される大型施設や開催予定の国際的なイベントのPR等を順調に受注しております。

売上高につきましては、マーケティング&コミュニケーション事業が堅調に推移するとともに、IP（知的財産）を活用した大手コンビニエンスストア向けの販促企画が好調なセールスアクティベーション事業がグループを牽引しました。利益につきましては、セールスアクティベーション事業が売上伸長に伴い改善したほか、回復基調にあるフードブランディング事業が黒字転換を果たしました。また、ビジネスディベロップメント事業において、費用が先行していた事業開発の赤字幅が縮小し、事業全体で利益改善が進みました。

なお、前年同期の営業外収益には組合損益分配額と助成金収入を合わせて387百万円を計上しておりましたが、当第2四半期連結累計期間に組合損益分配額の計上はなく、助成金収入も減少したため、営業外収益が大きく減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	10,828百万円（前年同期比 24.3%増）
営業利益	851百万円（前年同期比 74.7%増）
経常利益	891百万円（前年同期比 0.9%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	520百万円（前年同期比 1.6%減）

セグメントの構成および業績は次のとおりです。

セグメント区分	構成子会社
①マーケティング&コミュニケーション事業	㈱サニーサイドアップ（コンテンツ関連部門を除く）
	㈱クムナムエンターテインメント
	㈱ステディスタディ
	㈱スクランブル
	㈱エアサイド
②セールスアクティベーション事業	㈱ワイズインテグレーション
	㈱サニーサイドアップ（コンテンツ関連部門）
③フードブランディング事業	㈱フライパン
	SUNNY SIDE UP KOREA, INC
④ビジネスディベロップメント事業	㈱グッドアンドカンパニー
	㈱サニーサイドアップパートナーズ
	㈱アジャイル

①マーケティング&コミュニケーション事業

当事業では、PRを軸に、プロモーション、スポーツマーケティング、ブランディング、コンテンツ開発等、マーケティング及びコミュニケーションに関する多様なソリューションを提供しております。

㈱サニーサイドアップでは、企画力とメディアリレーションを強みとして、特定の業種に限定することなく、多様な商品・サービス、イベント、商業施設等のPRを手掛けるとともに、依頼が増加してきたグローバル企業の案件も受注しています。

㈱クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとして、日本及び韓国の人気アーティスト、有名プロスポーツ選手等を起用したブランディングやコンテンツ開発を手掛けています。㈱ステディスタディでは、ファッション・ライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を活用し、PRやイベントの企画・制作・運営、コンサルティングを提供しています。㈱エアサイドは、高いクリエイテ

イビティとエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けています。また、㈱スクランブルでは、インフルエンサーとYouTubeやInstagram等のSNSを組み合わせたマーケティングサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間におきましては、㈱サニーサイドアップの業績が引き続き堅調に推移し、テック企業を始めとするリテナー契約の更新・新規獲得が進んだほか、海外プロスポーツチームを招聘したイベント等のスポット契約も増加しました。また、ハイエンドブランドのPRやイベント受託が好調な㈱ステディスタディもセグメント業績に寄与しました。なお、当事業では、更なる成長に向けて人的資本への投資を行い、前年同期と比べ㈱サニーサイドアップで賞与引当金繰入額が増加したほか、新卒初任給の引き上げを含む一部給与改定を決定しております。

これらの結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	3,760百万円	(前年同期比 1.7%増)
セグメント利益	908百万円	(前年同期比 4.1%減)

②セールスアクティベーション事業

当事業では、店頭等での消費者とのコンタクトポイントにおける購買・成約の意思決定を促すためのノウハウ・ソリューションを提供しております。

㈱ワイズインテグレーションでは、商品キャンペーンの企画からグッズ制作、雑貨の商品企画及びOEM、大手食品・飲料メーカーのコミュニケーション戦略立案、国際支援団体のマーケティングサポート等を展開するとともに、受注型ビジネスからの脱却を図るため、自社素材・サービスを拡充しています。㈱サニーサイドアップのコンテンツ関連部門では、タレントやキャラクター等のIPを活用したコンテンツ制作及び販促施策を手掛けています。

当第2四半期連結累計期間におきましては、㈱サニーサイドアップのコンテンツ関連部門で大手コンビニエンスストア向けの販促企画が引き続き伸長したほか、大型のOEM案件も加わり、グループ売上高を牽引しました。㈱ワイズインテグレーションでは、前期に獲得した大型キャンペーンの反動減や急激な為替変動の影響を受けたものの、大手ハンバーガーチェーン向けの販促企画の受注等により、持ち直しの動きが見られました。

これらの結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	5,431百万円	(前年同期比 54.6%増)
セグメント利益	324百万円	(前年同期比 20.5%増)

③フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の国内におけるブランディング、ライセンスビジネス及び韓国におけるライセンス管理と店舗運営を行っております。

直営7店舗を展開する国内では、当第2四半期連結累計期間に出退店はなかったものの、「bills 横浜赤レンガ倉庫」(神奈川県横浜市中区)が入居する商業施設の大規模改装に伴い、2022年12月にリニューアルオープンしました。当第2四半期連結累計期間においては、特に銀座や大阪の回復が顕著となったほか、その他の店舗も堅調に推移しました。また、2店舗を展開する韓国におきましても、売上高は引き続き順調に推移しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、米国ハワイ州からの事業撤退が完了し、前年同期の損失が解消されたことに加え、韓国に続いて国内でも売上高が堅調に推移したことから、事業全体で黒字に転換しました。

これらの結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,361百万円	(前年同期比 16.8%増)
セグメント利益	19百万円	(前年同期実績 △160百万円)

④ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメント特性上、費用が先行する傾向にあります。

㈱グッドアンドカンパニーでは主に、ウェルビーイングや女性活躍推進等、社会課題の解決に資するコミュニケーションサービスを提供しています。当第2四半期連結累計期間においては、女性のヘルスケアやキャリアとの両立など、ライフデザインを啓発するプロジェクトを中心に手掛けました。

㈱サニーサイドアップパートナーズでは、事業シーズ、パートナーの発掘及び事業スキーム策定、ならびに事業化後における管理・運用業務を行っております。また、㈱アジャイルでは、グループが有する資産やIPを組み合わせ、新業態・新商品の開発支援及びコンサルティングサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間におきましては、事業開発に係る費用が先行していた㈱アジャイルの赤字幅が縮小し、事業全体で黒字転換しました。

これらの結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	275百万円	(前年同期比	17.9%減)
セグメント利益	22百万円	(前年同期実績	△82百万円)

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、10,882百万円（前連結会計年度末より3,333百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が9,198百万円（同3,355百万円増）、固定資産が1,684百万円（同21百万円減）となりました。また、負債合計は、7,763百万円（同3,034百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が6,912百万円（同3,244百万円増）、固定負債が850百万円（同209百万円減）であります。純資産合計は、3,119百万円（同299百万円増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、3,472百万円（前連結会計年度末より258百万円増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により支出した資金は431百万円（前年同期は979百万円の支出）となりました。主な要因としましては、売上債権の増加額2,140百万円、仕入債務の増加額1,733百万円、税金等調整前四半期純利益828百万円、前渡金の増加額821百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は118百万円（前年同期は42百万円の支出）となりました。主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出43百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により獲得した資金は797百万円（前年同期は875百万円の獲得）となりました。主な要因としましては、短期借入金の純増額1,314百万円、長期借入金の返済による支出234百万円、配当金の支払額179百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,230,172	3,488,582
受取手形	24,352	10,640
売掛金	1,958,834	4,139,799
商品及び製品	1,763	4,358
未成業務支出金	295,187	481,448
原材料及び貯蔵品	24,346	31,398
その他	319,412	1,063,731
貸倒引当金	△10,876	△21,257
流動資産合計	5,843,193	9,198,701
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	374,714	391,457
有形固定資産合計	374,714	391,457
無形固定資産		
のれん	317,539	296,830
その他	10,566	19,910
無形固定資産合計	328,106	316,741
投資その他の資産		
その他	1,065,512	1,011,379
貸倒引当金	△62,533	△35,318
投資その他の資産合計	1,002,979	976,060
固定資産合計	1,705,799	1,684,259
資産合計	7,548,992	10,882,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,062,193	2,777,511
短期借入金	538,000	1,852,295
1年内返済予定の長期借入金	521,187	368,151
未払法人税等	398,362	324,809
賞与引当金	-	168,000
役員賞与引当金	129,071	-
契約負債	180,720	941,156
その他	838,855	480,781
流動負債合計	3,668,390	6,912,706
固定負債		
長期借入金	661,140	486,450
資産除去債務	125,659	126,436
その他	273,650	238,098
固定負債合計	1,060,451	850,986
負債合計	4,728,841	7,763,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,764	547,764
資本剰余金	696,127	696,127
利益剰余金	1,543,800	1,883,471
自己株式	△30,448	△130,456
株主資本合計	2,757,244	2,996,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,191	1,392
繰延ヘッジ損益	-	△4,859
為替換算調整勘定	△63,233	△16,197
その他の包括利益累計額合計	△62,041	△19,663
新株予約権	100,016	125,704
非支配株主持分	24,931	16,319
純資産合計	2,820,150	3,119,268
負債純資産合計	7,548,992	10,882,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,710,997	10,828,107
売上原価	6,955,395	8,664,660
売上総利益	1,755,602	2,163,447
販売費及び一般管理費	1,268,003	1,311,548
営業利益	487,599	851,899
営業外収益		
受取利息	71	71
受取配当金	534	441
持分法による投資利益	2,907	-
組合損益分配額	151,723	-
助成金収入	235,803	59,706
その他	28,337	18,052
営業外収益合計	419,377	78,271
営業外費用		
支払利息	5,803	4,775
持分法による投資損失	-	8,757
為替差損	-	15,976
その他	1,631	9,527
営業外費用合計	7,435	39,036
経常利益	899,541	891,134
特別利益		
固定資産売却益	-	1,636
特別利益合計	-	1,636
特別損失		
固定資産除却損	138	0
子会社出資金売却損	-	29,342
出資金評価損	-	34,519
特別損失合計	138	63,862
税金等調整前四半期純利益	899,403	828,908
法人税等	339,533	317,095
四半期純利益	559,869	511,813
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	31,208	△8,611
親会社株主に帰属する四半期純利益	528,660	520,425

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	559,869	511,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△851	201
繰延ヘッジ損益	-	△4,859
為替換算調整勘定	△14,017	47,035
その他の包括利益合計	△14,869	42,378
四半期包括利益	544,999	554,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513,790	562,803
非支配株主に係る四半期包括利益	31,208	△8,611

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	899,403	828,908
減価償却費	49,585	39,566
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,611	△16,834
のれん償却額	20,709	20,709
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△230,029	△129,071
賞与引当金の増減額(△は減少)	120,000	168,000
受取利息及び受取配当金	△606	△513
支払利息	5,803	4,775
為替差損益(△は益)	△12,593	△9,278
助成金収入	△235,803	△59,706
持分法による投資損益(△は益)	△2,907	8,757
組合損益分配額(△は益)	△151,723	-
子会社出資金売却損益(△は益)	-	29,342
業務受託料	-	△10,072
固定資産売却益	-	△1,636
固定資産除却損	543	0
株式報酬費用	27,395	25,688
出資金評価損	-	34,519
匿名組合損益分配額(△は益)	1,109	4,117
債権譲渡損	-	421
売上債権の増減額(△は増加)	△2,124,566	△2,140,043
棚卸資産の増減額(△は増加)	△116,270	△199,654
前渡金の増減額(△は増加)	52,122	△821,325
その他の資産の増減額(△は増加)	△23,783	97,667
仕入債務の増減額(△は減少)	500,834	1,733,700
未払金の増減額(△は減少)	65,808	△145,141
未払消費税等の増減額(△は減少)	△28,349	△46,912
前受金の増減額(△は減少)	242,769	-
契約負債の増減額(△は減少)	-	760,435
その他の負債の増減額(△は減少)	△16,279	△232,844
小計	△953,214	△56,423
利息及び配当金の受取額	71	138
利息の支払額	△5,456	△5,709
業務受託料の受取額	-	10,072
助成金の受取額	235,803	59,706
法人税等の支払額	△356,145	△460,981
法人税等の還付額	99,115	21,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	△979,826	△431,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,705	△43,484
有形固定資産の売却による収入	-	1,636
無形固定資産の取得による支出	△300	△12,668
出資金の払込による支出	-	△26,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△33,617
貸付金の回収による収入	934	934
敷金及び保証金の差入による支出	△344	△5,398
敷金及び保証金の回収による収入	760	323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,655	△118,774

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,199,927	1,314,295
長期借入金の返済による支出	△230,060	△234,990
配当金の支払額	△90,093	△179,980
リース債務の返済による支出	△4,618	△1,834
自己株式の取得による支出	-	△100,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	875,154	797,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,484	11,128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△151,810	258,409
現金及び現金同等物の期首残高	2,587,272	3,214,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,435,461	3,472,782

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式148,700株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第2四半期連結累計期間において自己株式が100,007千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が130,456千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、全出資持分を譲渡したことに伴いbills waikiki LLCを連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング &コミュニケーション事 業	セールスア クティベーシ ョン事業	フードブラ ンディング 事業	ビジ ネスディベ ロップメン ト事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,697,687	3,512,633	1,165,569	335,107	8,710,997	-	8,710,997
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	52,465	6,042	1,451	40,928	100,887	△100,887	-
計	3,750,152	3,518,675	1,167,020	376,035	8,811,885	△100,887	8,710,997
セグメント利益 又は損失(△)	947,057	269,199	△160,688	△82,520	973,048	△485,449	487,599

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△349,761
全社費用(注)	△135,687
合計	△485,449

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	マーケティング &コミュニケーション事 業	セールスア クティベーシ ョン事業	フードブラ ンディング 事業	ビジ ネスディベ ロップメン ト事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,760,470	5,431,469	1,361,026	275,140	10,828,107	-	10,828,107
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	51,975	4,010	1,602	14,190	71,778	△71,778	-
計	3,812,446	5,435,479	1,362,629	289,331	10,899,886	△71,778	10,828,107
セグメント利益	908,240	324,293	19,539	22,120	1,274,193	△422,294	851,899

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△304,060
全社費用(注)	△118,233
合計	△422,294

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	マーケティング &コミュニケーション事業	セールスアク ティベーション事業	フードブランデ ィング事業	ビジネスディベ ロップメント事 業	
日本	3,610,828	3,508,997	929,507	332,107	8,381,440
アジア	31,723	3,636	207,257	3,000	245,617
米国	31,061	—	28,804	—	59,865
欧州	24,074	—	—	—	24,074
顧客との契約から生じ る収益	3,697,687	3,512,633	1,165,569	335,107	8,710,997
外部顧客への売上高	3,697,687	3,512,633	1,165,569	335,107	8,710,997

当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	マーケティング &コミュニケーション事業	セールスアク ティベーション事業	フードブランデ ィング事業	ビジネスディベ ロップメント事 業	
日本	3,445,656	5,430,099	1,072,010	267,340	10,215,107
アジア	184,715	1,370	289,015	7,800	482,901
米国	87,983	—	—	—	87,983
欧州	42,115	—	—	—	42,115
顧客との契約から生じ る収益	3,760,470	5,431,469	1,361,026	275,140	10,828,107
外部顧客への売上高	3,760,470	5,431,469	1,361,026	275,140	10,828,107